

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
21102	無限の可能性開発講座II Development of Limitless Potential	服部哲也・鈴木幸男・大津ゆみ子		基礎	1	必修	1後期
科目の概要							
「無限の可能性開発講座I」を基礎としたオムニバス形式の授業である。特定の職業を超えてあらゆる仕事で必要となるジェネリックスキルの修得を目的とする。授業は主にグループワークによる能動的学修法であり、「知識活用力」や「課題解決力」などの考える力と、「コミュニケーション能力」や「自主性・自律性」などの生きる力を育成する。自立した社会人として、一般的知識と技能と常識に裏付けられた考えを持ち、自己研鑽に取り組み、自らの可能性を活かしつつ組織や社会の中で貢献できる能力を身に付ける。具体的には、三河地域の特産物を使用した海・山の三河おにぎりの商品開発を行い、考案した商品についてのプレゼンテーションを行う。また、知識を獲得し活用することで課題解決に結びつける力を身に付ける。							
学修内容				到達目標			
① プレゼンテーションの目的や多様性および5W1Hによる実践法を知る。 ② 商品開発を通してとしてアイデアの開発から商品化するまでの流れを体験し、新商品の作成法を知る。 ③ 政府刊行物や各種学会発行の資料等を収集し、エビデンスを確立する方法を知る。 ④ 与えられた条件に基づき商品を考案し、対象者にわかりやすく伝えるための方法を知る。				① 目的、効果、方法、表現方法等を理解して相手にわかりやすい発表方法を選択することができる。 ② 商品開発に不可欠なマーケティング・アイデア開発・商品紹介を理解し実践できる。 ③ 科学的根拠に基づき論理的な話題の展開法を理解し実践できる。 ④ スライドや図表を効果的に活用し、対象者に見合った技法を用いて発表できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	商品開発という目標を達成するため、分担作業などの与えられた責任を果たし、また、積極的に資料や参考文献を使って自学自習をすることができること。					
	働きかけ力						
	実行力	到達目標及び評価方法等を確認して、期限までに新商品と商品紹介媒体を完成すること。そのための手順や方法を反復して考えて、予習や復習に取り組むことができること。					
考え抜く力	課題発見力	ただ単に作品を仕上げるのではなく、対象集団の分析によって需要を把握し、また、その対象者が求める商品に提示することができる。そのうえで科学的根拠に基づいた商品紹介をすることができること。					
	計画力						
	創造力	他の科目で学んだ知識を有機的に活用し、固定観念に捉われないこと、多角的に考えることができること。					
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手にわかりやすいように工夫して発表ができること。また、声の大きさや話すスピードを工夫し、専門用語を聞き手に理解しやすいように伝えることができること。					
	傾聴力	他人の意見を聞く際「あいづち」や「うなづき」で確認し、自分の意見を述べることができる。また、自己主張を押し切るのではなく、建設的な議論をすることができること。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席せず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
・社会人基礎力を育む学泉ノート「無限の可能性への道」 本学編							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：無限の可能性開発講座I、キャリアデザイン講座、栄養士学外実習 資格との関連：特記なし							
学修上の助言				受講生とのルール			
「生きる力」とは何か、自問自答しながら授業に臨むこと。また、自分に無限の可能性があると信じ、失敗を恐れず取り組むこと。また、文章力をつけておいてください。				遅刻や欠席、早退はグループメンバーに迷惑がかかることであり、厳に慎むこと。また、外部講師との「気づきの会」では課題レポートを期限内に提出すること。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
		レポート		20	①		社会人基礎力やpisa型学力を意識したうえで、「三河海苔」の取り組みを今度の学修にどのように活かしていくのかについて具体的に記述され、意欲的に取り組もうとする姿勢がみられること。
					②	✓	
③							
④							
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			70	①	✓	技能や発表態度、新商品の完成度高くチームワークが発揮されていること。目的、効果、方法、表現方法等を理解して相手にわかりやすい発表方法を選択できていること。ニーズや新商品のコンセプトに合わせ、アイデア開発から新商品への展開ができていること。成長した社会人基礎力について、具体的に例をあげて説明できること。プレゼンテーション評価票に基づき下記の10項目を評価する。内容が科学的根拠に基づいて作成され対象集団に合致していること。また、質疑応答において的確に答えることができること。 （評価項目：表現技能、発表態度・意欲、チームワーク、内容の具体性、知識や理解度、作品技能、創意工夫、発表時間、学修成果、社会人基礎力やpisa型学力の発揮状況）	
				②	✓		
	③			✓			
	④			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	「主体性」目標に向かって指示がなくても、文献等を参考に自学自習ができること。 「実行力」新商品を開発するための手順や方法を考えて、目標に向かって活動できること。 「課題発見力」対象の需要を客観的にとらえ、科学的根拠に基づいてまとめることができること。 「計画力」新商品の完成に向けて臨機応変に計画の見直しや修正ができること。 「創造力」収集した資料を多角的に考え、それに基づいて商品化化することができること。 「発信力」相手に伝えたいことを的確に発信するため、声の大きさ、話すスピードなど工夫して発表できること。 「傾聴力」業務報告においては、他のグループの発言をしっかりと聴き、またメンバーの意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができること。 「規律性」遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>★商品開発の流れを習得して、しっかりポイントをおさえ、商品コンセプトや対象者の需要にマッチした商品開発をすることができる。(1)</p> <p>★商品紹介をイラストなどを使い、開発までのストーリーや商品の特徴を論理的に説明し、充実した商品紹介をすることができる。(2)</p> <p>★政府刊行物や各種学会発行の資料等をしっかり収集し分析してまとめ、話題を展開することができる。(3)</p> <p>S(秀) = ①+②+③、A(優) = ①+②</p>	<p>★新商品開発の流れを習得して、商品開発をすることができる。(1)</p> <p>★商品紹介をなイラストなどを使い、開発までのストーリーや商品の特徴を説明し、商品紹介をすることができる。(2)</p> <p>★政府刊行物や各種学会発行の資料等を活用して話題の展開ができる。(3)</p> <p>B(良) = ①+②+③、C(可) = ①+②</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	ガイダンス 授業の概要や進め方、 グループ編成と役割分 担を行う。商品開発の 取り組みについて説明 を行う。 (服部)	講義 質疑応答にてフィード バックする。	授業目的、方法を理解 し、この授業によって 得られるスキルが理解 できる。商品開発の流 れを概ね説明できる。	(復習) 前期講座(I) の要点を復習する。 (予習) 三河の地元食 材について調べてくる こと。	180	主体性 実行力
2	三河の特産品について 調べる① 地元食材について調 べ、栄養的特徴や加工 方法等を知る。発表に 向けた計画をまとめ る。(服部)	講義・グループディス カッション 解説・質疑応答にて フィードバックする。	グループで調べた地元 食材について、栄養的 特徴について概ね説明 できる。	(復習) 地元食材の栄 養的特徴や加工方法等 についてまとめるこ と。 (予習) 地元食材の歴 史や現状について調べ てくること。	180	主体性 実行力
3	三河の特産品について 調べる② 地元食材について調 べ、歴史や現状につい て知る。発表に向けて ビジュアル効果等を知 る。(服部)	講義・グループディス カッション 解説・質疑応答にて フィードバックする。	グループで調べた地元 食材について、歴史や 現状について概ね説明 できる。	(復習) 地元食材の 歴史や現状についてま とめること。 (予習) 相手に分かり 易く伝える方法やポイ ントについて整理して くること。	180	主体性 実行力
4	三河の特産品について 調べる③ 地元食材について発表 資料としてまとめ、地 元食材と共に資料作成 への理解を深める。 (服部)	講義・グループディス カッション 解説・質疑応答にて フィードバックする。	グループで調べた地元 食材について、根拠に 基づいた資料を作成す ることができる。	(復習) わかりやすい 表現方法のポイントを まとめること。 (予習) 発表にむけて 役割分担や内容を確認 しておく。	180	主体性 実行力
5	三河の特産品について の発表① 各グループで調べた地 元食材について発表を 行う。聞き手を意識し た発表を理解する。 (鈴木)	講義・プレゼンテー ション 解説・質疑応答にて フィードバックする。	グループで調べた食材 について、聞き手を意 識した発表を行うこと ができる。	(復習) 発表評価レ ポートを作成する。 (予習) 発表にむけて 役割分担や内容を確認 しておく。	180	実行力 創造力
6	三河の特産品について の発表① 各グループで調べた地 元食材について発表を 行う。聞き手を意識し た発表を理解する。 (鈴木)	講義・プレゼンテー ション 解説・質疑応答にて フィードバックする。	グループで調べた食材 について、聞き手を意 識した発表を行うこと ができる。	(復習) 発表評価レ ポートを作成する。 (予習) 発表にむけて 役割分担や内容を確認 しておく。	180	実行力 創造力
7	商品開発コンセプトに ついて説明 「海・山の三河おにぎ り」 商品設定を解説し、消 費者のニーズに応じた 商品を理解する。(服 部)	講義 質疑応答にてフィード バックする。	商品開発において消費 者ニーズを踏まえて商 品コンセプトを検討す る目的を説明すること ができる。	(復習) 商品開発と消 費者ニーズについてま とめること。 (予習) 新商品の案を 3つ考えてくること。	180	課題発 見力 傾聴力
8	三河おにぎりの商品開 発① 海・山をテーマにした 三河おにぎりのレシピ 開発を各グループにて 行う。 (服部)	講義・グループディス カッション 解説・質疑応答にて フィードバックする。	地元食材の特徴や消費 者ニーズを踏まえなが ら、おにぎりの商品開 発をグループで検討 し、新商品のポイント を説明できる。	(復習) 新商品の商品 コンセプトについて整 理しておく。 (予習) 原価管理の役 割や計算方法等ついて 確認しておく。	180	課題発 見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	三河おにぎりの商品開発② 海・山をテーマにした三河おにぎりのレシピ開発を各グループにて行う。(服部)	講義・グループディスカッション 解説・質疑応答にてフィードバックする。	地元食材の特徴や消費者ニーズを踏まえながら、おにぎりの商品開発をグループで検討し、新商品のポイントを説明できる。	(復習) 新商品の原価管理における課題を整理し、改善案を考えてくる。 (予習) 作成のための作業工程案を作成しておく。	180	創造力 発信力 傾聴力
10	三河おにぎりの商品開発③ 海・山をテーマにした三河おにぎりのレシピ開発を各グループにて行う。(服部)	講義・グループディスカッション 解説・質疑応答にてフィードバックする。	地元食材の特徴や消費者ニーズを踏まえながら、おにぎりの商品開発をグループで検討し、新商品のポイントを説明できる。	(復習) 新商品の作業工程における課題を整理し、改善案を考えてくる。 (予習) 新商品の課題とセールスポイントの整理。	180	創造力 発信力 傾聴力
11	三河おにぎりの商品開発④ 商品紹介媒体を作成し、消費者に働きかける必要性を理解する。試作における役割分担を行う。(服部)	講義・グループディスカッション 解説・質疑応答にてフィードバックする。	考案した商品について、科学的根拠に基づいた商品紹介媒体を作成することができる。	(復習) 科学的根拠について復習しておくこと。 (予習) 試作に向けて、役割と作業工程を確認しておく。	180	計画力 発信力 傾聴力
12	試作 試作を行い、原価計算や作業工程・修正箇所を確認を行う。(服部)	実習・グループディスカッション 解説・質疑応答にてフィードバックする。	グループ内で協力して試作を行い、原価計算や修正箇所を検討し、改善につなげることができる。	(復習) 見つかった修正箇所について改善案を考えてくる。 (予習) 気づきの会に向けて、短大生活のビジョンや目標をまとめる。	180	発信力 規律性
13	「気づきの会」 キャリアカウンセラーとグループで面談し自己の行動特性に気づく。(外部講師)	グループ面談 面談の終わりに、アンケート (質問に記述で答えた後、フィードバックする) 外部講師4名	講師との質疑応答ができ、自己の考えや意見を簡潔に主張できる。面談後は仲間の発言も参考に自己評価ができる。	(復習) 面談者からのアドバイスや指導内容、感想をまとめる。 (予習) 自己実現に向けた抱負を800字程度にまとめる。	180	課題発見力 傾聴力
14	新商品発表会 各グループで考案した新商品おにぎりを作成し、試食会とともに商品紹介を行う。(鈴木)	プレゼンテーション 各グループの発表後に講評 (審査員が口頭で、フィードバックする)	グループで考案した新商品について、これまでの学習成果を活かし、プレゼンテーションを行うことができる。また、グループ内での役割を果たすことができる。	(復習) これまでの学習成果について相互評価をとおして復習する。 (予習) この授業をとおして成長した社会人基礎力をまとめる。	180	発信力 規律性
15	取り組みの総括 最終的にレシピを完成させるとともに、グループ活動や自己の取り組みについて総括する。(鈴木)	講義 授業の終わりに、各班の活動報告を実施 (各班の代表による総括後、フィードバックする)	これまでの授業を振り返り、学習到達目標と比較して総括し、レポートにまとめることができる。	(復習) グループや自己の活動状況を振り返り、到達目標と比較しながらレポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力